

## 防災通信 No.43

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

## 備蓄水 (飲料水)

今回は災害時のライフラインが途絶えた際に命を守る為に欠かせない備蓄水 (飲料) について少し考えていきましょう。

### 【GT保管備蓄水 (飲料)】

2025年6月現在のGT備蓄水 (飲料) は、500ml 1800本・400ml 576本あります。各家庭150世帯でみると1軒あたり7.5ℓ程度ですので成人2人の1日分強となります。また、災害での被害を小さくするために12号棟横・7号棟下・集会室の3か所に分散保管をしています。いかがですか、想像より少ないと感じられたのではありませんか。さらに災害の被害を受けた場合の損失を考えると住民に行き渡る量はどのようになるのでしょうか。安全な保管場所を確保して備蓄水を増やしていきたいですね。

### 【各家庭での対応】

各家庭でも1人1日3ℓを3日から1週間分の確保が必要になります。3人家族の場合1日9ℓ、3日で27ℓ、1週間で63ℓになります。この量を安全に保存することを考える必要があるのではないのでしょうか。

### 〈備蓄水容器〉

備蓄水には代表的な保存容器に缶詰・ペットボトルがありますが、その特徴を見ていきましょう。

#### ① アルミ缶の水

アルミ缶は光や空気を通さないため、ペットボトルよりも保存性が高く、消費期限が5年や10年の製品もあります。また、密閉性が高く耐久性に優れているため、地震などの災害時にも破損しにくいのが特徴です。ただし、開封後は速やかな使用がのぞまれます。保存水は水道水のように塩素消毒により細菌の繁殖を抑えたり、「保存料」が入っているわけではありません。中の水はミネラルウォーターと一緒にですので、開封後は細菌の増殖を避けるよう心掛けましょう。

#### ② ペットボトルの水

ペットボトルの水は備蓄用として非常に適しています。軽量で持ち運びがしやすく、サイズも500mlから2ℓまで選べるため、用途に応じて準備が可能です。密閉性が高く、未開封なら長期保存でき、衛生面でも安心です。また、透明な容器なので内容物の状態が一目で確認できます。開封してもまた閉じることができる点も便利ですね。しかし直に口を付けて飲むと、唾液中の菌がペットボトル内に入り、増殖するので、コップに注いで飲むようにしましょう。



	メリット	デメリット
ペットボトル 500ml	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の持ち出しに便利</li> <li>コップがなくても飲める</li> <li>早く飲み切れるため衛生的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ℓの保存水よりも割高</li> <li>沢山飲む人には足りない</li> </ul>
ペットボトル 2ℓ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コスパがよい</li> <li>省スペースで保管ができる ※1</li> <li>空き容器の使い道が多い ※2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重たいため運びにくい</li> <li>直接口をつけて飲むには向かない</li> </ul>

- ※1 2ℓ×6本のケースは500ml×24本のケースよりも箱が小さく、その分省スペースで保管できます。
- ※2 2ℓ空き容器の使い道：給水用のペットボトル・シャベル・じょうろ・ランタン・簡単なろ過装置

### 〈保存環境〉

備蓄水の保存場所は高温・多湿・直射日光・凍結等の影響を避けて保管することが重要です。また、災害の被害から飲料水を守るためにも、分散して保管することが望ましいですね。

### 〈災害時の避難を想定した保管場所〉

- ① 誰にでもわかる、目に付きやすい場所
- ② いざと言う時に、すぐに、持ち出しやすい場所  
(持ち出し用に500mlの水を数本準備)
- ③ 避難時に通ら道の妨げにならない場所

※ 避難用のリュックなどに入れ替える場合は、遮熱 冷温材などで覆い、横置きは変形が起きやすいため、キャップが上になるよう立てて保管してください。棚への収納も横向きに並べてしまうとペットボトルの変形が起きやすく水が劣化するため、キャップは上になるよう立てて保管してください。

### 〈自宅に十分な備蓄水を保存する場合〉

やはりコスパがよく、コンパクト収納（段ボール）できる2ℓのペットボトル水がおすすめです。

備蓄水は、購入時の段ボールのまま保管するのが推奨されます。段ボールには断熱効果があり、外気の影響をうけにくく、品質を保つことができます。また、備蓄水用は『箱の強度が強い』・『箱に賞味期限を記載してある』・『箱に持ち手の穴がない』等の特徴があります。



災害時の備蓄水（飲料水）はとても重要です。給水所や防災拠点の配給がありますが、自宅分はいつ確保できるかわかりません。そのため各家庭での準備が大事ではないでしょうか。

### 〈私自身（自宅）での対応方法〉

飲み水は備蓄水をある程度は確保していますが、自宅で作ることも考えています。

- ① 多機能小型除湿器（停電時使用可能）を使用し水を作りだします。
- ② 電動式携帯浄水器を使用し①の水を飲料用に浄水し確保できます。
- ③ 雨水を確保する準備があります。
- ④ 近くに生活用水を確保できる場所があります。

以上は、私個人の考えで皆様に推奨できる内容ではありませんが、参考になりましたらと考えます。